

令和6年12月教育委員会定例会議 議事録

開会日時 令和6年12月19日（木） 午後2時00分

閉会日時 令和6年12月19日（木） 午後2時29分

場 所 岡崎市役所福祉会館2階201号室

出席者 教育長 安藤 直哉

教育委員 千野 智子 上原 三十三 小森 保生 田口 千代

説明のため出席した職員

二村教育部長 小田教育監 浅岡教育部次長兼施設課長 鈴木教育政策課長
宇都木学校指導課長 田中社会教育課長 山元教育相談センター所長
渋谷教育政策課副課長

議事録指定職員

早川教育政策課総務政策係係長 猪飼教育政策課主査

日程

日程第1 報告第7号

和解に関する専決処分について

日程第2 その他

- (1) 岡崎市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について
- (2) 令和7年度採用以降の市任期付教員の段階的な拡充について
- (3) 令和7年度小中学校入学式等儀式の実施日について

(議題等及び議事の要旨)

■日程第1 報告第7号

和解に関する専決処分について

教育政策課長 議案書等により「和解に関する専決処分について」を説明

安藤教育長 質疑を許可

(質疑なし)

■日程第2 その他

(1) 岡崎市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について

教育政策課長 議案書等により「(1) 岡崎市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について」を説明

安藤教育長 質疑を許可
小森委員 附属機関の委員として任期はあるが、今回は全員新規の委員となるのか。再任者はいるのか。
教育政策課長 2名が新規、3名が再任となっている。

(2) 令和7年度採用以降の市任期付教員の段階的な拡充について

学校指導課長 議案書等により「(2) 令和7年度採用以降の市任期付教員の段階的な拡充について」を説明

安藤教育長 質疑を許可

千野委員 令和7年の実際の受験者数と想定合格者数が表内にあるのか。

学校指導課長 お見込みのとおり。

千野委員 3年生まで拡充する前提の採用で、2年生までに適用するとすると、余剰人員がでてくることはないか。

学校指導課長 実際には、学級数が確定するのが新学期が始まる直前であるため、補欠合格という制度も利用し、想定より学級数が増える場合も対応できるようにしている。また、補欠合格者には併せて県の常勤講師という職種も考えている。

小森委員 採用試験の競争倍率2倍の根拠はあるのか。

学校指導課長 採用試験の競争倍率の低下が及ぼす影響を示すのは難しいものであり、根拠を示すことはできないのが現状ではある。ただし、競争倍率が低い状況での採用は、質に不安を感じたとしても採用せざるを得ない環境になってしまう。また、県の採用試験等においても倍率が2倍を下回る場合は、合格者の質という面では不安を感じるといったことを聞いたことがある。

小森委員 採用を今後行っていくのは厳しい状況であると思う。他業界では、合格枠はあるが、受験者が優秀であれば枠以上に採用していくこともある。これが、後に産育休や退職等した場合にも現場が混乱なく業務を遂行できることにつながることもあると思う。このような考え方はやはり難しいのか。

学校指導課長 愛知県においても、合格者数は必要者数となっており、合格には至らないが、それに準ずる能力を有する方は補欠合格となっている。また、退職者等が発生してしまった場合は、補欠合格者が繰り上げで合格というかたちになっている。市任期付教員では、合格者数は必要数、準じた能力のある者は県の常勤講師という手法をとっている。

小森委員 補欠合格者数が繰り上げ合格時に断られることはないのか。

学校指導課長 実態として既に他の自治体で勤務するといったことはある。

小森委員 補欠合格は立場が不安定であるため、安定した教員数の確保のため通常の合格にするというのも一つの考えかただと思う。

学校指導課長 補欠合格時に電話等で県の常勤講師としての枠があることを直

接伝え、不安定な状況にならないように努めている。

千野委員 募集人数等による質の担保が一番のネックだと思うが、それ以外にも他の要因があるのか。

学校指導課長 お見込みのとおり質の担保が一番の要因であり、それ以外にも制度の在り方等をふまえてのこととなる。

安藤教育長 当初の計画でも、効果等を検証し、プロジェクトの在り方を考えることとなっている。また、国や県の配置基準等も当初とは変わっている。児童生徒のために、今一度本プロジェクトをよく考えていきたい。

上原委員 当初の計画から変わってくると思うが、周知はどのような予定なのか

学校指導課長 本日の教育委員定例会議で報告をし、意見を聴取する。また、市長との協議調整の場である総合教育会議でも議題として扱い、その後校長会において正式な周知となっている。

上原委員 少人数学級は期待をされている保護者への周知は何か考えているのか。

学校指導課長 プロジェクト実施時には、広く周知している。それも踏まえたうえで本事案についての周知を検討していく。

千野委員 35人学級の実施状況を確認したい。

学校指導課長 小学校6年生までは、国の制度における35人学級となっている。中学校1年生は、県の独自制度における35人学級となっており、中学校2年生、3年生は40人学級となっている。

安藤教育長 岡崎市の小中学校は、小学校1年生、2年生は32人学級、小学校3年生から中学校1年生は35人学級、中学校2年生、3年生は40人学級となっている。バランスは悪くはないと思うが、少人数学級の拡大を望んでいるかたもいるため、周知方法を検討してほしい。

(3) 令和7年度小中学校入学式等儀式の実施日について

学校指導課長 議案書等により「(3) 令和7年度小中学校入学式等儀式の実施日について」を説明

安藤教育長 質疑を許可
(質疑なし)

岡崎市教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、ここに署名する。

令和7年2月13日

教育委員会教育長 安藤 直哉

教育長職務代理者 千野 智子